

慢性期医療の Clinical Indicator (試案)

～ 完成次第、日本慢性期医療協会ホームページで公表いたします～

1 領域【医療】

- 1) 入院時の医療区分の3ヶ月後の改善率(算定期間に限りがない区分の患者は除く)
- 2) 肺炎、尿路感染症の新規発生率
- 3) 肺炎、尿路感染症の治癒率
- 4) 入院時、尿道カテーテルが行われている患者の1ヶ月後の抜去率
- 5) 診療記録を評価するシステムがあるか

2 領域【薬剤】

- 1) 内服薬処方の見直しの頻度
- 2) 注射薬処方の見直しの頻度
- 3) 内服定期薬の処方薬剤数の平均
- 4) 簡易懸濁法が導入されているか
- 5) 誤薬防止対策が適切に行われているか
- 6) 薬剤師がミキシングを実施しているか

3 領域【看護・介護】

- 1) 生涯教育体制が整っているか
- 2) 看護計画に基づいた看護が行われ、適切に記録されているか
- 3) 入浴回数は適切に行われているか
- 4) 体位変換は適切に行われているか
- 5) 全入院患者に対する褥瘡患者の持ち込みの比率
- 6) 褥瘡の治癒率
- 7) 紹介元で抑制が行われていた患者の入院後の解除率

4 領域【リハビリテーション】

- 1) リハビリテーションを適切に行う体制が整っているか
- 2) 休日のリハビリテーション実施率
- 3) リハビリテーション実施単位数
- 4) 多職種によるリハカンファレンスの開催
- 5) FIM and/or BI でのADL状態が把握されているか

5 領域【検査】

- 1) 緊急検査が実施できる体制が整っているか
- 2) 画像診断のダブルチェックを行っているか
- 3) 生理検査が適切に行われているか
- 4) 検体のグラム染色実施率
- 5) 全入院患者に対する1ヶ月間の検査未実施率
- 6) 起炎菌検索と細菌培養感受性検査の実施率

6 領域【栄養】

- 1) 多職種(5職種以上)で構成されたチームが定期的に活動しているか
- 2) 栄養ケアマネジメントが適切に行われているか
- 3) 管理栄養士が、ケースカンファレンスに参加しているか
- 4) 低栄養の改善率
- 5) 経管栄養から経口摂取が可能になった患者の比率

7 領域【医療安全・院内感染防止対策】

- 1) 院内における転倒・転落などによる重症事故(骨折、頭部外傷など)の発生率
- 2) 医療事故防止体制が整備されているか
- 3) 職員のインフルエンザワクチンの接種率
- 4) 結核に対する予防対策が適切に行われているか
- 5) 院内検出細菌サーベイランスに基づいた感染症治療がおこなわれているか
- 6) 耐性菌発生防止のための、抗生物質の使用が適切に行われているか

8 領域【終末期医療】

- 1) 終末期の定義が院内で周知徹底されているか
- 2) 終末期医療に対する特別な書類(同意書)の使用によるインフォームドコンセントが実施されているか
- 3) ターミナルカンファレンス(5職種以上), デスカンファレンス(3職種以上)が開催されているか
- 4) 安らかな死に向けての特別な部屋(個室)が確保されているか

9 領域【チーム医療】

- 1) 病棟専従のコメディカルが配置されているか
- 2) 多職種によるケースカンファレンスが行われているか
- 3) 電子化により、医療情報の共有がおこなわれているか
- 4) 慢性期医療認定医師、看護師が配置されているか
- 5) 医療介護福祉士が配置されているか
- 6) 日本医療機能評価機構の認定病院であるか
- 7) 老人の専門医療を考える会の臨床指標を導入しているか

10 領域【地域連携】

- 1) 急性期病院からの新規紹介入院患者数（紹介率）
- 2) 在宅からの新規入院患者数
- 3) 在宅復帰率
- 4) 多職種（5職種以上）による入院・退院カンファレンスが実施されているか
- 5) 急性期病院・地域の介護保険事業所や施設と地域連携の会議を実施しているか

【レーダーチャートの例】

